

# Fraser Letter No.26

## ようこそ、フレイザー図書館へ

### 入館について

フレイザー図書館に入館するには、学生証または図書館利用証をゲートの読み取り部分にかざしてください。もし、エラー音が鳴ったら、下がってもう一度やり直してください。学生証を忘れた場合はゲートにある用紙に記入し、カウンターに声をおかけください。



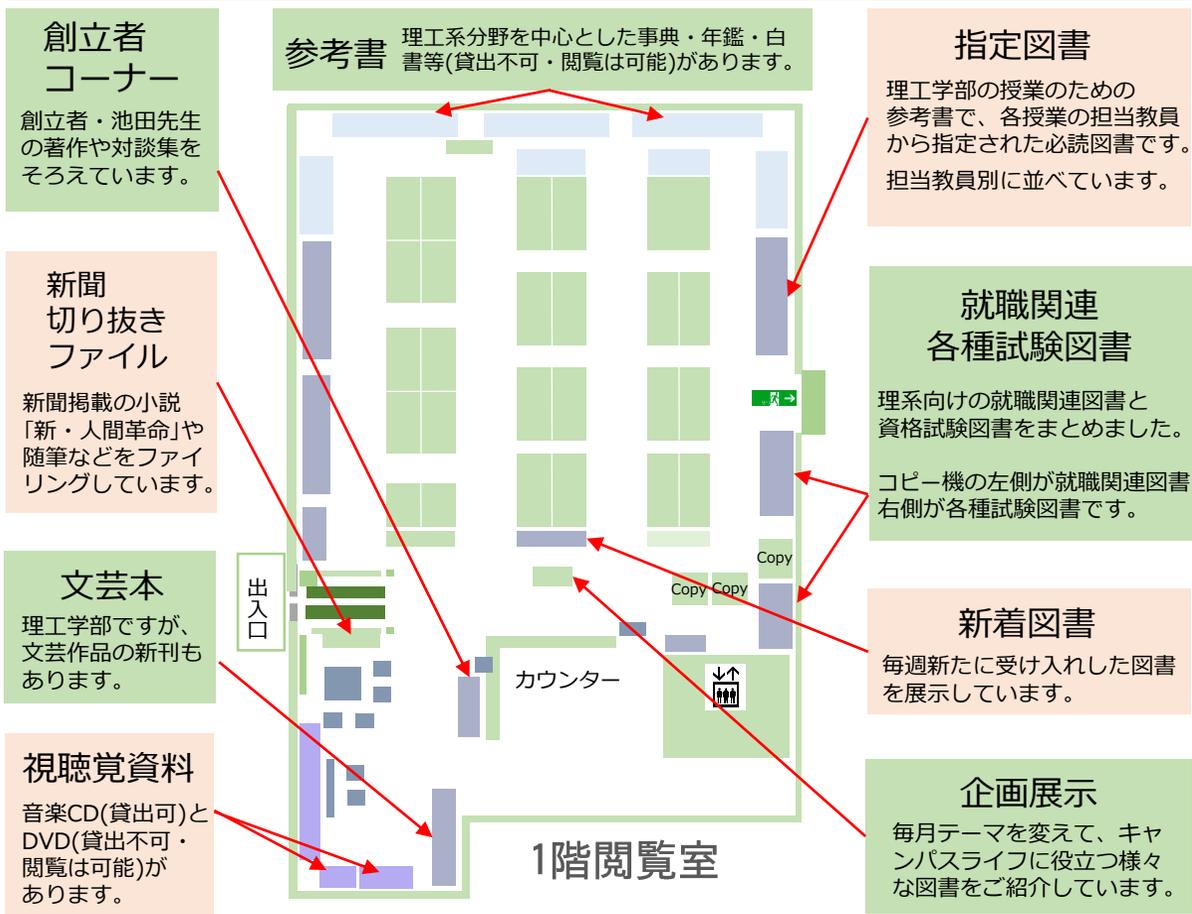
### 各階のご案内

初めてこられた方は、本が少ないので驚かれるかも。フレイザー図書館の1階は閲覧室で、図書や雑誌は地下(B1階、MB階)にあります。1階は和書の参考書、最新の雑誌、新聞などがあり、右図のように地下の図書とは分けて各コーナーを設けています。B1階には和書、洋書、ブルーボックス、MB階には雑誌のバックナンバー、大型本、洋書の参考書などがあります。入口から見て右奥にある専用エレベーターでどうぞ。

### 貸出・返却

貸出は、受付カウンターか自動貸出機で行ってください。音楽CDの貸出は受付カウンターのみです。延滞図書があると貸出をすることができません。返却は、受付カウンターに持ってきてください。返却ポストに返却することもできます(ただし音楽CDは、損傷を防ぐため返却ポストに入れないでください)。返却ポストは、理工学部E棟入口左側、中央図書館入口右側、中央教育棟南側入口、本部棟4階東側入口にあり、どこでも返却することができます。

## フレイザー図書館 1階各コーナーのご紹介



## 建築散歩 ～グラスゴー大学～

フレイザー図書館は、グラスゴー大学の学長を務めておられたウィリアム・フレイザー (William Fraser) 氏に敬意を表し、命名されました。そこで、今回はグラスゴー大学をご紹介します。

グラスゴー大学は、イギリス・スコットランドのグラスゴーにある、1451年に設立された歴史ある国立大学です。世界で最も早い時期(1840年)に工学部を開設した大学であり、産業革命において大きな役割を果たしました。卒業生には国富論を著したアダム・スミス (Adam Smith) 氏があり、その肖像は20ポンド紙幣に描かれています。他にも発明家のジェームス・ワット (James Watt) 氏など多くの世界的著名人を世に送り出しています。さらにこれまでに7名のノーベル賞受賞者を輩出しています。日本からの留学生としてはニッカの竹鶴政孝氏 (マッサンのモデル) や、三菱財閥の岩崎隆弥氏、科学者で工学博士の高峰謙吉氏が挙げられます。

グラスゴー大学は、グラスゴー市内を見渡す高台にあり、建物は美しいゴシック様式で、構内にはコンサートシアター、博物館、アートギャラリー、カフェがあります。博物館、美術館は一般に公開されています。また、建築家でありデザイナーのチャールズ・レニー・マッキントッシュ (Charles Rennie Mackintosh) 氏の自宅「マッキントッシュハウス」がキャンパス内に移転、公開されています。

観光名所にもなっていますので、グラスゴーへ行かれる機会がありましたらぜひ訪れてみてください。

